

愛車協だより2月号

平成31年 2月10日発行
愛知県自動車車体整備協同組合
発行責任者: 諸戸行雄



☀️ 晴れやかな 青年部 新年会

青年部（渡辺部会長）による新年会が、1月26日（土）、「座座はなれ」において青年部9名、青年部OB7名、賛助会員7名に加え岐阜青年部から古田↓↓ 中部ブロック幹事及び平光部会長も参加されて、総勢25名の参加に



より盛大に開催されました。（渡辺部会長挨拶 →）

愛車協古田さんの司会で、まず渡辺部会長の熱き想いの挨拶、金原理事長の挨拶、岐阜の古田中部ブロック幹事挨拶に続き、岐阜の平光部会長の乾杯で、華やかな青年部大宴会が始まり大いに盛り上がりました。



中締めは、青年部員への激励と大活躍に期待して、青年部OBの北支部の加藤理事が行いました。

☀️ 恒例の三河ブロック 新年宴会 ☀️



今年も恒例の三河ブロック新年宴会が、1月27日（日）「グリーンホテル三ヶ根」において、42名（組合員31名、賛助会員11名）の参加により盛大に開催されました。

豊田支部の（有）梅村鋳金塗装工業の梅村理事の司会で、（株）近藤鋳金工業所の近藤支部長が開催の挨拶を行いました。

金原理事長からは、大臣表彰受賞のお礼の挨拶があり、続いて賛助会員（株）原田弘商店「原田」様の乾杯で大宴会が華々しく始まりました。

また、恒例の賛助会員紹介（写真左上）も各社行われました。（株）三光社の平岩副理事長の中締め後は各部屋に戻ってからも延々と続き、三河ブロック恒例の新年幕開けとなりました。



第36回 中車協連 協議会 開催

第36回 中車協連協議会が、1月30日（水）午後から名古屋市民会館で開催されました。

これには、中車協連各単組から理事長及び専務10名の出席があり、冒頭、金原理事長の挨拶の後、次期日車協役員改選に伴う推薦委員の選出（予定）及び理事候補者の選出（予定）を協議しました。

推薦委員予定は愛車協理事長、理事候補者は愛車協及び岐阜車協理事長を予定するよう承認され、



中車協連としても団結し、業界を盛りたて新たな時代を築いていくことを確認しました。

来年度の車体整備士講習開講については、愛車協がアンケート結果後に決定するが、他各県は開講されません。

また、「平成31年度高度化車体整備技能講習・溶接編講師研修会について」の文書については、理解しかねる内容が多々あるため、本部へ「連合会に対する質問及び要望について」の文書を具申しました。

組合員の表彰



昭和支部の「吉田徳保」様（吉田自動車工業株式会社）が、名古屋市技能功労者表彰式に出席され、河村名古屋市長から表彰者代表として授与されました記事が、愛整振 news 1月号P. 4に記載されておりますので、お知らせします。

正・副理事長会 開催

第31回正・副理事長会が1月24日（木）午後から愛車協事務室内において開催されました。
来年度の理事長候補者は、「次期理事長候補者への立候補希望者の理事推薦について」の締め切り期限が1月21日をもって締め切られましたが、立候補希望者がなかったことから、「役員候補者選考内規」第6条（1）に基づき正・副理事長内より選出することになり、今般、金原理事長が続投の意を表明されたことにより、次回の理事会に次期理事長候補者として上程します。
また、平成31年度車体整備士及び2級シャシ整備士養成講習会開講については、アンケート結果をみて判断します。

☆今月 特殊巡回健診 実施



後期特殊巡回健診が今月19日～21日まで実施されますので、会場をお借りする組合員の方には、大変お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

- 2/19（火）・新明工業(株)ボディサービスセンター・(株)三光社・ナカバヤシ自動車工業(株)・(有)進光钣金
 - 2/20（水）・西小島公民館・小牧自動車販売整備協同組合
 - 2/21（木）・(株)加藤钣金整備・近藤自動車工業(株)・(株)カトウ・中部盲導犬協会
- * 今回より、一宮及び尾北地区の健診医療機関も全て「名古屋セントラルクリニック」において実施します。



会館 避難 訓練



愛知県自動車会館では、2月5日午後より入居する全ての団体100名程が参加して、火元責任者連絡会及び避難訓練を実施しました。
防火・防災管理規定の説明、昭和消防署員による防災講話等があり、その後、来館者も交えて駐車場へ避難する防火・防災避難訓練の実施及び消火器による本番さながらの緊張感溢れる初期消火訓練を行いました。

2月のつぶやき(^o^)入浴中の事故

4821人。これは、2016年に65歳以上の高齢者が自宅等での入浴中に事故死した人数です。
世間では、高齢者の暴走事故やペダル踏み間違い等による交通事故が話題になっておりますが、2011年以降は、ナント、高齢者の交通事故死亡者数よりも入浴中に事故死した人数の方が多くなっており、高齢者の交通事故件数は、免許返納や車の安全技術の発達により減少傾向にあります。

入浴中の事故対策として、入浴前に浴室周辺を温める、41度以下の低温で長湯はしない、食後及び飲酒後は避ける等々の心構えがありますが、ガンコになっている65歳以上の高齢者の事故死は依然年々増加中とか・・・

この業界の経営者も、高齢者年齢に達しておられる方が多くおみえになると思いますので、ご用心(^o^)
ご用心(^o^)。 かく言う小生もその仲間でした。 (^o^)



(y. m)